

尚ほ台と組合の運動等々ありしこと下 諸君不為の宣傳に乘
つて輕はずみの事をしられしこと却つて諸君の不幸を招く物な
結界にあらずしやうから此の際右のと自重也此人事を以此
七中上が二置るやう

東京建鉄株式会社

殿

建鉄手紙に有し親愛なる新民諸君に訴ふ！

現下の苦惱は建鉄の上の各層に於て甚く甚しきものなり。皆の諸君は皆建鉄の元氣が失はれしやうなる
失業者の増加は「数」に過ぎざる状態にあり。中層層人は破産状態に。労働者農民は今既成路上
に追いつかれ右様左様しつゝある。
かゝる惨状を存する東京建鉄株式會社を整理するとして百餘名の解雇を發表したる。そのうち
幼少の児童を僅か十日分の日くせを命じて追いつけしむる。これこそ然るて居られず。外
親愛なる新民諸君！ 俺達建鉄三百千名の新業員は此の最苦の最苦の時と首印能計
反動も備へて反動も写し叫んか起す上。一人物も才職もあらず。諸君が関東各層業員協
會の旗の下に團結してや！
此より建鉄の元氣が衰へて他。四方の各層業員は——
而してその嘆息場を—— 吾れもしませ。 叔等昨日午後七、八、九時に初任の屋敷御坂のストライキに
於て。會多の同志もつた。解雇は。その建業員其の三千名を叩きだんを爲す。つた。輕人會に！
新業員も新民諸君！
俺達はこの喉を重なる。親愛なる同志は進して吾等がストライキの火蓋を叩いて起した。この
生活権利闘争の各層業員の下に首印能計の反対反対！。の叫びを高唱して。果ては一人も死を賭して
と闘ふ決心だ！
俺達の手紙に對して。其層新民諸君。絶大なる支持と。応援を。お願ひす。次弟です。
一九三一・五・一〇

関東各層業員協同組合 建鉄手紙回答部

新民各位

(五町町守化同也)